

# 令和6年7月4日研究公開報告

## 令和5・6年度県教育委員会指定研究公開

### 垂水市立垂水小学校で

「小学校高学年教科担任制実践研究」についての研究公開が開催されました。

令和6年7月4日（木）に、垂水市立垂水小学校にて、県教育委員会指定「小学校高学年教科担任制実践研究」の研究公開が行われました。垂水小学校は、研究主題を「『考える楽しさ』『分かる・できる喜び』を実感し、主体的に学びに向かう子供の育成～算数科における指導法の改善と教科担任制を取り入れた学習指導を通して～」と設定し、2年間の実践的な研究に取り組んでこられました。当日は、授業の展開・終末時において、数学的に表現し伝え合わせる指導の工夫や教科担任制の取組の実際が、研究内容として示されました。また、授業ではICT機器や思考ツールの活用を工夫して、思考の整理や意見交流の活性化を図る子供たちの様子が見られました。



【閉会のあいさつ】  
北川 政人 校長先生

#### 【研究発表】

展開・終末の過程において、数学的活動を工夫することで、児童が考える楽しさや分かる・できる喜びを実感し、主体的に学びに向かうようになったことや、教科担任制を効果的に活用することで、授業の質が向上し、子供一人一人の学習内容の理解度が深まり、学びの高度化につながったことについての紹介が、研修係の大重麻衣教諭からありました。また、「学びの天気」を活用した振り返りを行うことで、教師が習熟の度合いを把握するだけでなく、児童がこれまでの振り返りを確認して、自分の変容を実感できていることを分かりやすく説明されました。



【研究発表の様子】

#### 【授業研究】

4年生の授業研究では、「主体的に学びに向かう子供の育成における自由進度学習の有効性」、5年生の授業研究では、「数学的に表現し、伝え合う活動の工夫と教科担任制を取り入れた学習指導の在り方」の視点で協議が行われました。参加者からは、垂水小が取り組んでいる教科担任制に対する質問や自由進度学習に対する質問が多く出されました。【授業研究の様子】



#### 【公開授業：第4・5学年 算数】

##### 単元 4年「2けたでわるわり算」

4年生は、一人一人が学習のめあてや計画を立て、使用する教材や学習形態等を選択して学習を進める「単元内自由進度学習」に取り組みました。児童の学習状況に応じた授業者の適切なファシリテートの下、既習事項を活用し、一人で3桁÷3桁の計算の仕方をじっくりと考えたり、友達や先生に進んで疑問点を質問したり、グループで活発に意見を交流したりするなど課題解決に向け、主体的に学ぶ児童の姿が見られました。



【4年生の様子】

##### 単元 5年「小数のわり算」

5年生は、与えられた学習問題を解くためにどんな式を立てればよいか、今までの学習から見通しを立て、図や表を使って自分の意見を交流させました。授業前から、学習で使う言葉をKahootで楽しく復習するとともに、学習に対する雰囲気づくりをするなど工夫が見られました。授業では、自分の意見を整理する時間を確保した上で、図や表を使って説明させました。児童の中には、友達に分かりやすく説明しようと、ヒントカードや他の友達の意見を参考にする姿が見られました。



【5年生の様子】